

FD・SD共通

8月23日(火)13:00～15:00/M23教室

ディプロマポリシー・カリキュラムポリシー・アドミッションポリシーの開発と一貫性構築の進め方

■講師



小林 直人

(愛媛大学 教育・学生支援機構 教育企画室長、
愛媛大学 医学部 総合医学教育センター長・教授)

昭和 63 年3月東京大学医学部医学科卒、博士(医学)。平成 21 年度より愛媛大学教育・学生支援機構副機構長と教育企画室長を兼任。教育担当理事(教育・学生支援機構長)のもと、大学全体のFDをミクロ・レベルからマクロ・レベルまで幅広く担当。

■プログラム概要

平成 20 年3月に出された『学士課程教育の構築に向けて』(中央教育審議会)では、国際通用性を備えた学士課程教育の構築のために「明確な『三つの方針』に貫かれた教学経営」を求めています。つまり、大学の個性や特徴は「各機関の学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受入れの方針」(ディプロマ・ポリシー:DP、カリキュラム・ポリシー:CP、アドミッション・ポリシー:AP)に反映されるものとし、この三つの方針の共通理解のもとに教職員が日常の実践に携わり、PDCAサイクルを確立することが重要だとしています。また、大学の様々な外部評価の際にも、同様の方針の策定と公表が求められています。

このプログラムでは、DP・CP・APの策定と一貫性構築を進めて行く業務の実際、DPを利用したカリキュラム・アセスメントの実例、想定される問題点、成果を上げるコツなどを、愛媛大学の経験をもとに、シミュレーション・ワークショップ形式で実施します。

■本プログラムの到達目標

1. DP・CP・APの策定とそれらの間の一貫性構築を進めることの重要性について、政策面を含めて自身が所属する機関の教職員に説明することができる。
2. DP・CP・APの策定とそれらの一貫性構築の進めかたについて、愛媛大学の良い点と改善すべき点を指摘することができる。
3. 自身が所属する大学等で取り組むべき内容とすぐにできる取組を上げることができる。